

マザーホームだより



平成30年9月発行 No. 5
発行：社会医療法人社団 三思会
複合型施設マザーホーム戸室
厚木市戸室1-29-1
電話番号 046-222-7755
ファックス 046-222-7756

外観の色が変わりました

訪看もみじ

平成30年4月異動



松田仁子さん

自宅で療養されている方やその御家族の支援ができるようにこれから頑張っていきます。よろしくお願いします。

訪看もみじ

平成30年4月入職



秋島恵美子さん

訪問看護を通じて皆さんのお役に立ちたいです。よろしくお願いします。

マザーホーム戸室

平成30年4月異動



河原さなえさん

さつきの里あつぎから異動になりました。これからもみなさんの笑顔が見れるよう頑張ります！

マザーホーム戸室の防災への取り組み

いざという時の為に消火訓練、
避難訓練を
随時行っています。



災害時に備えて...

多機能型事業所 にじいろでは、主に医療機器を使用している方を対象としているため、災害時ライフラインが途絶えた際の危険に備え、発電機に加え、厚木市障害者地域生活サポート事業補助金を活用し、蓄電池・太陽光発電システム・発電機を設置しました。

医療機器を使用している利用者様が安全に過ごせるよう、これらを使い電源の確保を行います。蓄電池では、人工呼吸器3台・酸素濃縮器1台・パルスオキシメーター2台・エアマット台・吸引器5台使用で12時間。これに、太陽光発電システムを接続することにより、備蓄している電力を賄いながら活用していきます。





救命講習

2018年7月6日(金)に厚木市消防署の方に指導頂き、マザーホーム戸室で働く職員向けに救命講習会が行いました。前半はプロジェクターで救命の大切さやAEDの操作方法について学びました。



後半は各グループに分かれて実習を行いました。練習用のAEDや人形を使い実際の操作方法や心肺蘇生法の演習を行いました。

もみじ災害支援の取り組み

平成23年3月11日の東日本大震災が起こった日からもみじの防災対策を見直す事にしました。利用者様への災害時支援策として①災害への心構えのパンフレット②緊急時の申し送りカードを作成して、いざという時に持ち出せるように、ベッドの側に備えています。また、職員への教育も定期的実施しています。①訪問車のガソリン補充②災害伝言ダイヤル操作の練習③災害発生時の各自の動きの流れの手順作成などを定期的確認し合っています。防災グッズも常に携帯しています。



戸室のひろば

幻灯機とお好み焼き会

6月21日(木)にゆうゆうクラブさんの主催で幻灯機とお好み焼きの会が行われました。花形さんのお話にのせて、山口さんの幻灯機で「ぶんぶく茶釜」「つるの恩返し」「まめの木」の3本が上映されました。30名様ほど参加され住宅にお住まいの方も5名様ほど参加されました。参加された方は「懐かしく観賞させてもらった」「映像が綺麗だった」と好評でした。



第2部では、ホットプレートを囲んでお好み焼き会が行なわれました。焼き立てのお好み焼きに舌鼓を打ちながら、話に花が咲いて和やかな雰囲気でした。

*第2回 地域公開講座のお知らせ

今年度は「防災」をテーマとして外部講師をお招きしていく予定です。

日時:平成30年11月17日(土)

時間:13時~14時

場所:マザーホーム2階研修室

問い合わせ:TEL046-222-7755(マザーホーム戸室)

編集後記

三思会の職員親睦会旅行で娘と東京ディズニーランドに行ってきました。あいにくの強風で35周年記念のパレードが見られず残念でしたが、娘と2人だけでめぐるパークはとても楽しかったです。(K.K)

